

103-254

問題文

42歳女性。食後、みぞおちに差し込むような痛みが続いたため内科を受診し、胆石症による痛みと診断された。

問254

この患者の治療薬として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. ウルソデオキシコール酸
2. カモスタットメシル酸塩
3. ランソプラゾール
4. フロプロピオン
5. シメチジン

問255

前問で適切と考えられた薬物の作用機序に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 胆石表面のコレステロールをミセル化することで胆石を溶解する。
2. 胆嚢からの胆汁排泄を抑制する。
3. カテコール-O-メチルトランスフェラーゼ(COMT)を阻害することでOddi括約筋を弛緩させる。
4. タンパク質分解酵素を阻害する。
5. H^+ , K^+ -ATPaseを阻害する。

解答

問254 : 1, 4 問255 : 1, 3

解説

問254

問255 とまとめて解説します。

問255

ウルソデオキシコール酸は、 コレステロール系胆石の 溶解目的で用いられます。

カモスタットメシル酸は、 タンパク質分解酵素阻害薬です。 すなわち、消化酵素阻害薬です。 自己消化を防ぐことで膵炎の症状を緩和します。 カモスタットは、主に慢性の膵炎に使用されます。 胆石症には用いられません。

ランソプラゾールは、PPIです。 胆石症には用いられません。

フロプロピオンは 排胆薬です。 COMT : catechol-O-methyltransferase を阻害することにより 胆管平滑筋や Oddi 括約筋を弛緩させます。 胆石の排出を促す目的で用いられます。

シメチジンは H_2 ブロッカーです。 胆石症には用いられません。

以上より、 問254 の正解は 1,4 です。

問255 の正解は 1,3 です。

ちなみに、 問255 の選択肢 1 が ウルソの作用機序です。

選択肢 3 がフロプロピオンの作用機序です。

選択肢 4 がカモスタットの作用機序です。

選択肢 5 がランソプラゾールの作用機序です。